

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 子どもと人間関係 ナンバリング：2321	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：布施由起 担当形態：単独
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	領域に関する専門的事項 ・人間関係 ／保育内容の理解と方法		
授業の到達目標及びテーマ 1. 乳幼児を取り巻く人間関係の現代の特徴とその社会的背景について説明できる。 2. 乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から説明できる。 3. 乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて説明できる。			
授業の概要 乳幼児期の人間関係は、子どもの自立心、協同性、道徳性・規範意識を育てる基盤となっている。本授業では、現代の乳幼児の人間関係の発達に影響を与えている社会的要因や背景について理解し、幼児教育・保育で保障すべき教育内容、幼児教育・保育の今日的課題に関する知識を身に付ける。特に、領域「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論として、関係発達論的視点について学び、家族、保育者、子ども同士、地域の人との関わりなど多くの他者との関係や、遊びや生活などの活動を通して、幼児期の人と関わる力が育つことを理解する。また、人との関わりを通して育まれる自立心、協同性、道徳性の発達について学び、人と関わる力を育てる保育者の役割について考える。			
授業計画 第1回：現代社会と乳幼児の人間関係 第2回：人と関わる力を育てる幼児教育・保育の今日的課題 第3回：乳幼児における人間関係の発達 —家族、保育者、子ども同士、地域の人とのかかわりから— 第4回：家族とのかかわりと人と関わる力の発達 第5回：保育者とのかかわりと人と関わる力の発達 第6回：子ども同士のかかわりと人と関わる力の発達 第7回：集団での活動を通じた人と関わる力の発達 第8回：地域の人とのかかわりと人と関わる力の発達 第9回：幼児期の遊びを通じた人と関わる力の発達 第10回：幼児期の生活を通じた人と関わる力の発達 第11回：乳幼児期の自立心の発達—自我の芽生え、自己の発達— 第12回：幼児期の協同性の発達—集団活動、行事等を通して— 第13回：幼児期の道徳性・規範意識の発達—葛藤経験を通して— 第14回：幼児期に育みたい資質・能力と人間関係 第15回：人と関わる力を育てる保育者の役割 定期試験：筆記		授業時間外の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。 ・授業前に提示する事前課題を教科書、参考文献等をもとに行い、関心のある点、疑問点を整理しておく。疑問点については、調べておく。 ・授業後は参考文献等により関心のあるテーマについての理解をさらに深め、学習した内容についてまとめておく。 	
授業の方法 講義、グループでの演習やワーク。単元ごとの小レポートにフィードバックを行う。			
テキスト 『保育内容 人間関係—基礎的事項の理解と指導—』 田代和美・榎本真美 編著 建帛社 『幼稚園教育要領』(最新版)、『保育所保育指針』(最新版) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(最新版)			
参考書・参考資料等 『保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・解説とポイント』(最新版)			
学生に対する評価 授業態度 (20%)、小レポート (30%)、定期試験 (50%)。 ルーブリックを活用し、総合的に評価する。			
履修上の注意 ・受講にあたっては、教科書、参考文献等を参考に事前事後の学習を行い、グループでの演習には積極的に取り組むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	精神科クリニック勤務 (臨床心理士、公認心理師)
実務経験を活かした教育内容 精神科クリニック勤務の経験を活かして、実践的な講義を行う。			